

令和5年第3回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 令和5年3月23日(木) 午後2時00分
- 2 招集場所 大河原町役場 2階 第1会議室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長
- 4 説明のため出席した者
佐藤勝弘 教育総務課長、木村武俊 生涯学習課長、山家一博 学校教育専門監
- 5 開 会 午後2時00分
- 6 令和5年第2回教育委員会定例会会議録の承認について
鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。
一盃森委員、丹羽委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告

- 報告第3号 令和5年第1回大河原町議会定例会(3月会議)の結果について
- 報告第4号 大河原町体育施設条例の一部改正について
- 報告第5号 大河原町都市公園条例の一部改正について
- 報告第6号 県費負担教職員の異動状況について
教育総務課長生涯学習課長より説明 異議なし

(2) 専決事務報告

報告第2号 専決処分報告について

(令和4年度大河原町一般会計補正予算(第13号))

教育総務課長、生涯学習課長より説明

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| 丹羽委員 | P53負担金 生徒大会出場宿泊費負担金とは、どのような子が出場したのか。 |
| 佐藤教育総務課長 | 大河原中学校の種目はスキーでの出場。 |
| 丹羽委員 | 親の負担金はあるのか。 |
| 佐藤教育総務課長 | 親の負担金はないので、自費となる。 |

(令和5年度大河原町一般会計予算)

教育総務課長、生涯学習課長より説明 異議なし

8 議 事

議案第5号 在学青少年教育相談員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第6号 おおがわら子どもの心のケアハウス職員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第7号 特別支援教育支援員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第8号 学校図書司書補助員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第9号 スクールサポートスタッフの任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第10号 部活動指導員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第11号 大河原町駅前図書館司書の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第12号 社会教育指導員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第13号 部活動地域移行コーディネーターの任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第14号 学校開放事務補助員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第15号 令和5年度学校給食実施計画について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

9 その他

(1) 教育長報告(校長会資料による報告)

1 岩間達雄校長先生 ご退職

学力向上研究指定校として、素晴らしい成果を残された。

2 学力向上

(1) 学力上位県のひみつ(千々布俊弥)

(2) 家庭環境による教育格差に挑むために学校ができること(中村瑛仁)

授業を公開したり、同僚で支え合うような学校が良い成果を上げている。授業

研究を大事にしていく学校は子どもの学力も伸びていく。

家庭環境による教育格差を是正し、成果を上げている学校に共通する取組の一つに、家庭学習習慣の充実などがある。

(3) 第2回標準学力調査結果について

達成率を見まして、2つの教科ともアップした学級、片方の教科のみアップした学級など、合わせると77%の学級が学力上昇している。教科指導の成果として認められる。

3 「人間力」の育て方（堀田力）

8歳で、ガンで亡くなった子どもの話。自分の痛みをけなげに耐え、お母さんのことを案じた、子どものやさしい心を信じたい。

4 通常学級に在籍する発達障害等の児童生徒の状況

大河原では通常学級に在籍する発達障害等の児童生徒割合が国より高い状況である。教員補助員の増員が必要。

5 コミュニティ・スクール

(1) 各校学校運営協議会等のまとめ

(2) 地域とともにある学校づくり

今年度、新たな学校地域連携の取組として、大河原小では、小学3年音楽への「小山田やすとこ」の導入、大河原南小では、「親子オリエンテーリング」などが加わりとても良い取組となった。

6 『小学生の英単語』活用事例

各学校での活用方法についてまとめたものを説明。

7 「パークゴルフ」について

小中学生にも体験させたいと考えている。

8 部活動について

大河原中学校では部活動は任意加入。金ヶ瀬中学校でも、部活動の参加を「奨励」という形をとる。

9 子供たちに夢を与える

これまで、町内各学校にカメラ付き顕微鏡等をご寄付くださった桜井氏の話。

10 その他

資料に基づき連絡事項・行事・会議等の説明。

- | | |
|-------|---|
| 丹羽委員 | P23 堀田力さんの話。子どもは大人以上に自己中だしウソをつく。子どもだから純粋なんて思ったらとんでもない。しかし、P28 では子どものやさしい心の話。子どもはやさしい心を持っている。親や教師は愛情をもって育てるのが大事。無償の愛で包んであげる家庭環境、学校環境が必要。 |
| 一盃森委員 | コミュニティスクールの話。学校運営協議会と教育委員会との関係はどのように考えればよいか。学校運営協議会で話し合われたご報告をいただくことはできないか。 |
| 鈴木教育長 | 大河原町教育振興基本計画をぜひ協議会でも基本としていただければ良い。学校運営協議会の責任は教育委員会にある。ただ、各学校でのコミュニティスクールの狙いからすると、学校の持つ独自性は大事にし、運営権は校長や協議会にあり、教育委員会が支える関係が大事ではないかと考える。こちらから指示を出したりは避けたい。会議の報告は、すべて教育委員会に報告いただいている。 |
| 一盃森委員 | 各学校、地域においてどのような課題を持って協議されているかを知りたい。把握することで、今後、ますます充実していく。
働き方改革の話。やはり教員不足が大きい。年度では配置されるが、年度途中での補充がされない。教育活動ができていたことができなくなっている。今後とも、強く、国・県へ要望し解消できればと思う。令和5年度からは、コロナも落ち着き、従前の活動が展開されるので、ぜひ、何とかしてほしいと強く思う。 |
| 鈴木教育長 | 教員不足は全国で起きている。町内でも休まなければならない教員がいるが、替わりの教員がいないような状況。他の学校からの、1日、2日でも派遣する制度がない。柔軟性に欠ける法律になっている。困っている場合は、助け合って対応するのが良いと思う。
やはり、教員不足で、若い先生がいない状況であり、非常に難しい問題になっている。 |
| 舟山委員 | コミュニティスクールの話。地域に浸透させて成功させていくために、保護者の方々は、学校運営協議会とは何をするべきかを理解する必要がある。例えば、PTA総会などで説明。この制度を周知し、みんなに知っていただく必要がある。 |
| 鈴木教育長 | 町民には周知していて、学校でも周知している。しかし、学校がすぐ変わるとは思わない。地域の方に見ていただき、徐々に地域に浸透して続けていければ良い。 |

	<p>各校の事業などの課題で、形が変わるのを恐れるのではなく、形を変えながら、子ども達が力を付けていく方策はないかというような議論が学校運営協議会でできれば良いと考える。</p> <p>それぞれの学校に応じた取り組みが長く続けられれば良い。</p>
一 盃 森 委 員	<p>やはり、各学校でこれまで取り組んできたことを土台として、地域のみなさんと考えて方向性を定めていくのが大事。</p> <p>資料の中坊先生の話にもあるが、「子どもを育てるとともに、そこにかかわる大人もともに育つ。子どものために、地域のために、自分のためにできることをする」というコンセプトが大事である。</p>
丹 羽 委 員	<p>やり方の工夫は必要。変えていただいて、先生方の負担がないように。賛成である。</p>
小 山 委 員	<p>コミュニティスクール。保護者の間でも、抽象的で分かりづらいとの意見がある。自分達がどのような事をすれば良いのか分からないとの声があった。地域の方に少しずつ分かりやすい形で浸透していければ良いと思う。</p> <p>英単語帳の活用の話。ぜひ、活用していただき、少しでも小学生のうちに覚えてほしい。</p>

(2) 各課長報告

教育総務課長、生涯学習課長

令和5年度計画、行事予定について説明。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和5年4月21日(金)午後2時から開催する。

11 閉会宣言 午後4時45分

令和5年4月21日

署名委員

署名委員